



2022年3月期 決算説明資料

林兼産業株式会社

2022年5月13日

2022年3月期実績	
連結損益計算書の概要	・・・ 2
セグメント別の売上高・営業利益	・・・ 3
貸借対照表の概要	・・・ 4
キャッシュ・フロー計算書の概要	・・・ 5
業績の推移	・・・ 6
四半期連結業績の推移	・・・ 7
セグメントの状況	・・・ 8-9
連結損益計算書	・・・ 10
売上高・利益計画	・・・ 11
配当の状況	・・・ 12

連結損益計算書の概要



(単位:百万円)

	2021年3月期	2022年3月期			
		実績	前年増減	当初計画	当初計画増減
売上高	44,366	40,389	▲3,977	42,500	▲2,110
営業利益	615	728	112	610	118
経常利益	848	916	67	750	166
親会社株主に帰属する当期純利益	1,291	707	▲583	470	237

前期との主な変動要因

売上高	肉類の販売が低調に推移したことや、養殖魚の在池量減少に伴う養魚用飼料の販売数量減少により前年を下回る (「収益認識に関する会計基準」等適用による影響額 ▲18億10百万円)
営業利益	水産物相場が堅調に推移したことや採算性を重視した取引に努めたことにより増益
経常利益	営業利益の増加により増益
親会社株主に帰属する当期純利益	前期に計上した特別利益(固定資産売却益)の反動により減益

セグメント別の売上高・営業利益



(単位:百万円)

	2021年3月期	2022年3月期			
		実績	前年増減	当初計画	当初計画増減
売上高	44,366	40,389	▲3,977	42,500	▲2,110
機能・食品事業	24,442	21,608	▲2,833	23,000	▲1,391
飼料事業	17,622	16,936	▲686	17,500	▲563
その他の事業	2,301	1,844	▲457	2,000	▲155
営業利益	615	728	112	610	118
機能・食品事業	361	351	▲9	570	▲218
飼料事業	909	1,150	240	830	320
その他の事業	261	138	▲123	150	▲11
消去又は全社	▲917	▲911	5	▲940	28

貸借対照表の概要



(単位:百万円)

	2021年3月期末	2022年3月期末	
		実績	前年増減
流動資産	13,633	13,385	▲248
固定資産	15,028	13,107	▲1,921
資産合計	28,661	26,492	▲2,169
流動負債	12,150	11,021	▲1,129
固定負債	6,271	5,703	▲568
負債合計	18,422	16,724	▲1,697
純資産合計	10,239	9,768	▲471
負債純資産合計	28,661	26,492	▲2,169

キャッシュ・フロー計算書の概要



(単位:百万円)

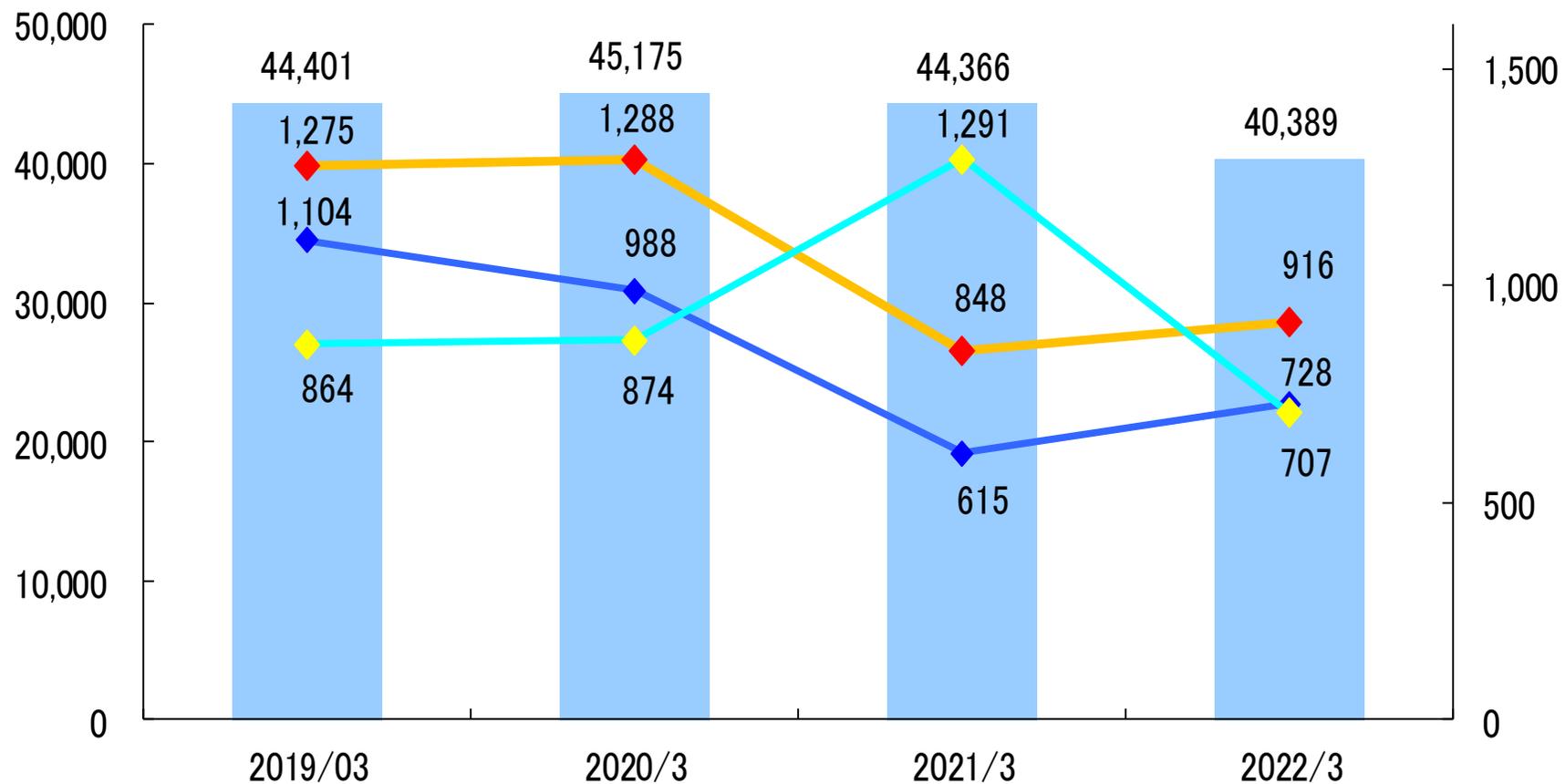
	2021年3月期	2022年3月期	
		実績	前年増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,280	683	▲2,596
投資活動によるキャッシュ・フロー	47	18	▲28
フリー・キャッシュ・フロー	3,327	702	▲2,624
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲2,904	▲737	2,166
現金及び現金同等物の増減額	424	▲33	▲458
現金及び現金同等物の期首残高	1,551	1,976	424
現金及び現金同等物の期末残高	1,976	1,942	▲33

業績の推移

■ 売上高(左軸) ◆ 営業利益(右軸) ◆ 経常利益(右軸) ◆ 親会社株主に帰属する当期純利益(右軸)

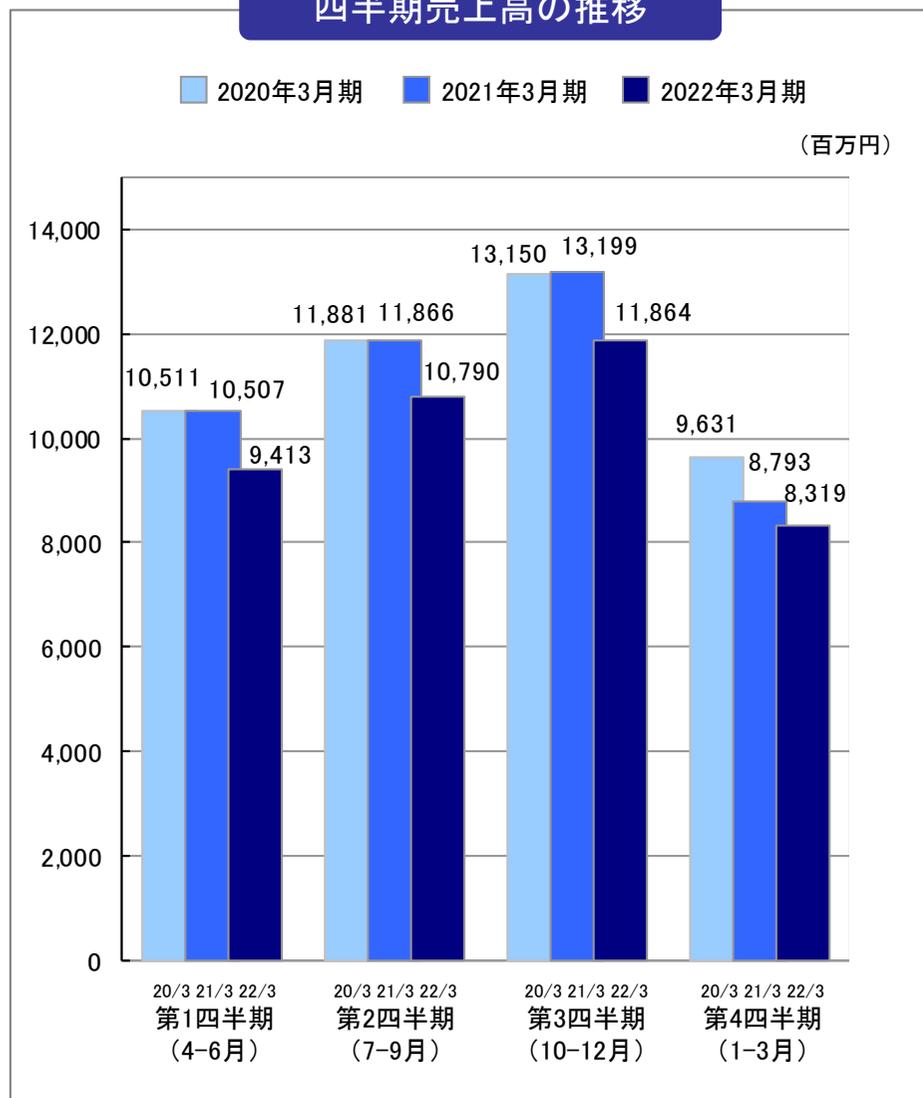
(単位:百万円)

(単位:百万円)

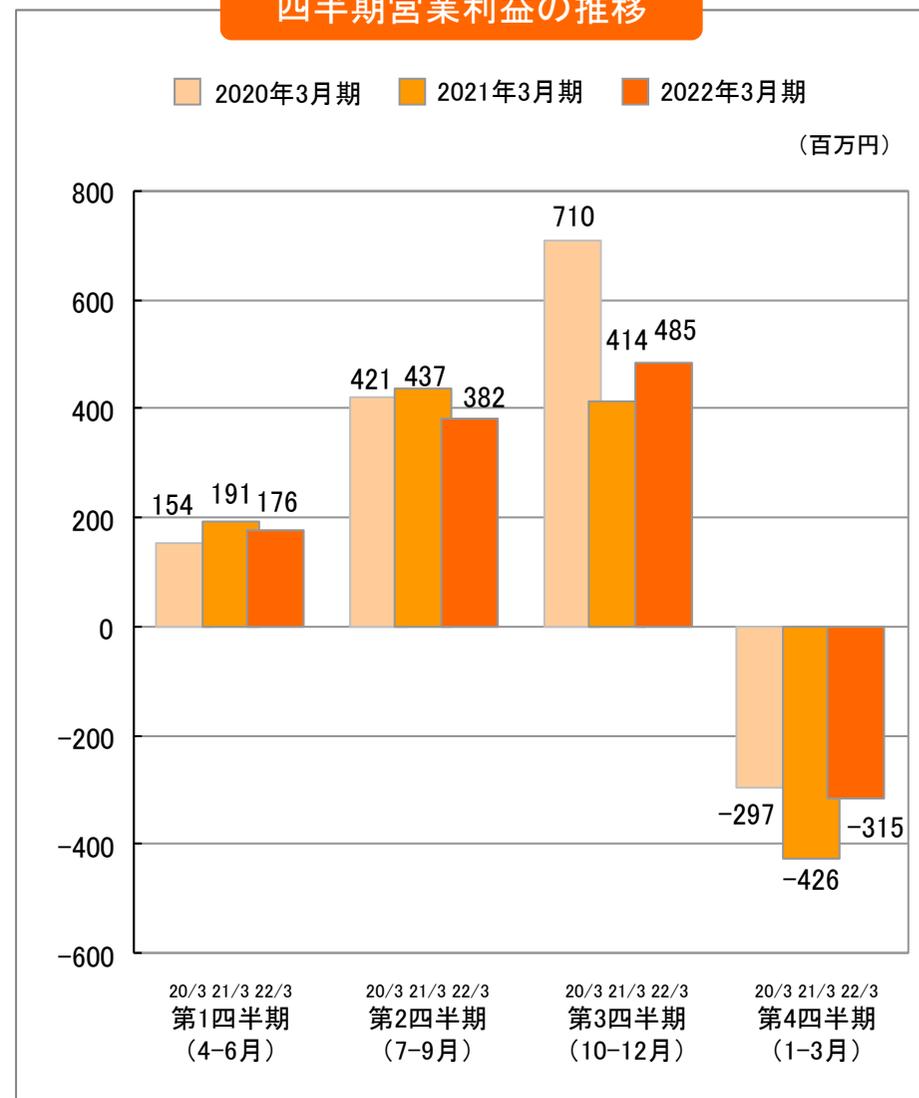


四半期連結業績の推移（売上高・営業利益）

四半期売上高の推移



四半期営業利益の推移

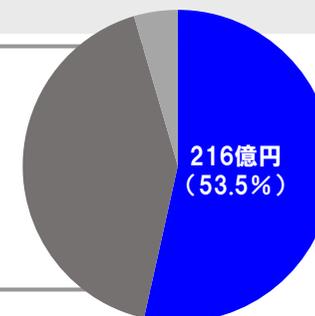


セグメントの状況（機能・食品事業）

概況：肉類や魚肉ねり製品の販売数量減少により売上高は前期を下回り、
肉類の利益率改善があったものの魚肉ねり製品の販売数量減少により減益
(「収益認識に関する会計基準」等適用による影響額 ▲10億52百万円)

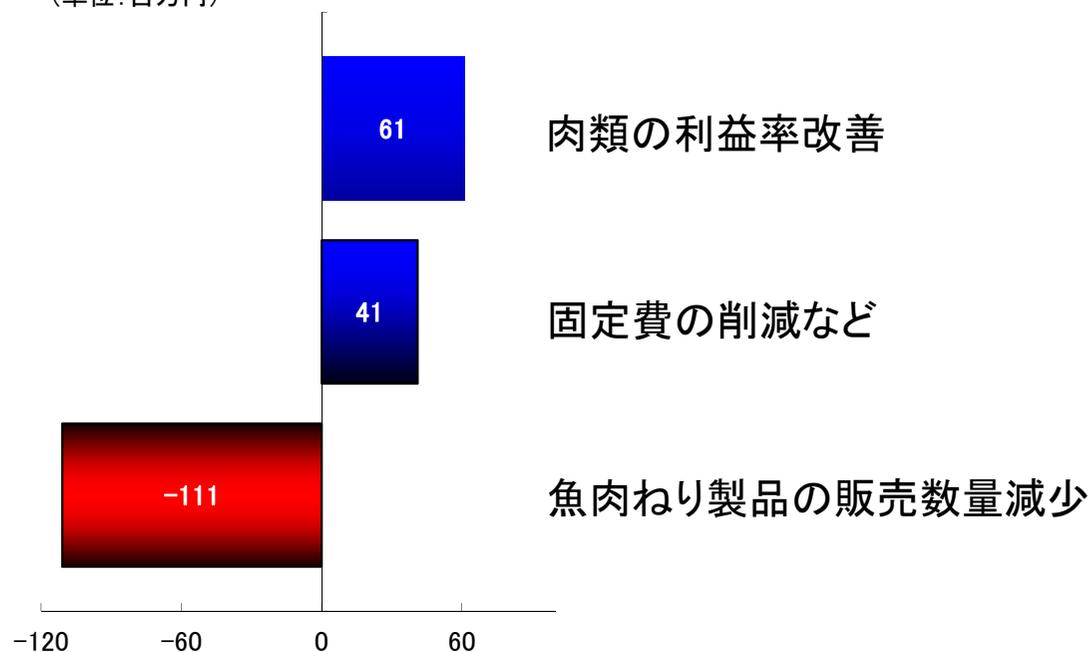
機能・食品事業

売上高 216億 8百万円 (前期 244億42百万円)
営業利益 3億51百万円 (前期比 2.7%減)



営業利益の増減要因

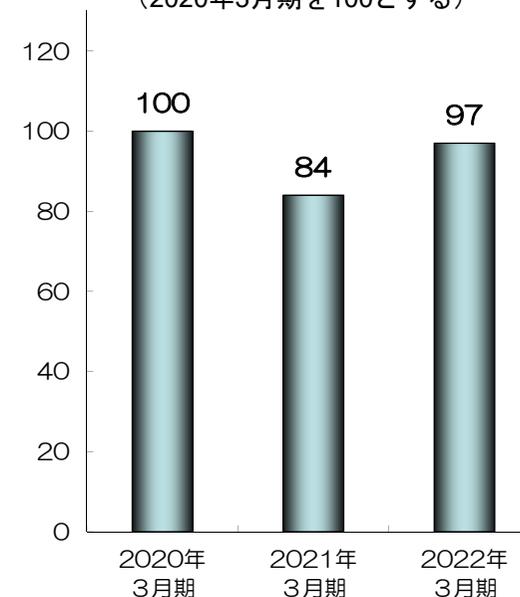
(単位:百万円)



営業利益の減少 9百万円

エラスチン販売数量推移

(2020年3月期を100とする)

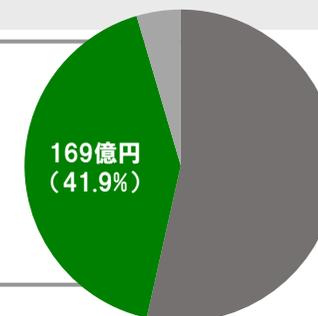


セグメントの状況（飼料事業）

概況：養魚用飼料の輸出数量が増加したものの、国内向け販売数量が減少したことにより
 売上高は前期を下回ったが、水産物相場の堅調な推移により増益
 （「収益認識に関する会計基準」等適用による影響額 ▲7億57百万円）

飼料事業

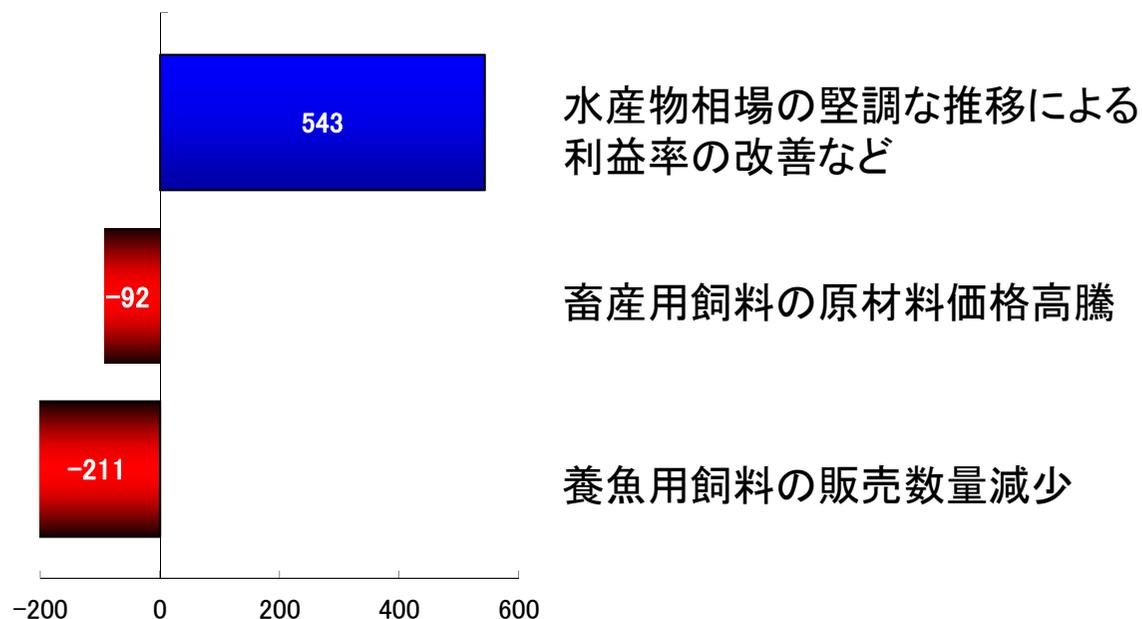
売上高 169億36百万円（前期 176億22百万円）
 営業利益 11億50百万円（前期比 26.4%増）



営業利益の増減要因

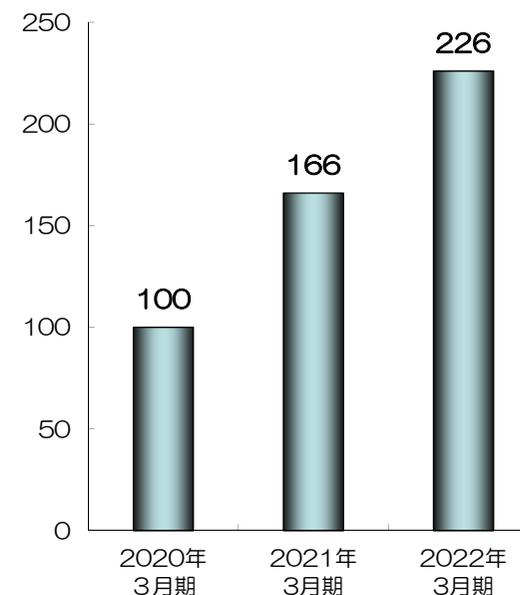
営業利益の増加 2億40百万円

（単位：百万円）



養魚用飼料輸出数量推移

（2020年3月期を100とする）



連結損益計算書



(単位: 百万円)

	2021年3月期		2022年3月期		前年増減		主な要因
	実績	売上高比	実績	売上高比	実績	売上高比	
売上高	44,366	100.0%	40,389	100.0%	▲3,977		前期特別利益(固定資産売却益) 781
売上原価	37,700	85.0%	34,531	85.5%	▲3,169		
販売費及び一般管理費	6,049	13.6%	5,129	12.7%	▲920	▲0.9%	
営業利益	615	1.4%	728	1.8%	112	0.4%	
受取配当金	78		97		19		
その他	295		242		▲52		
営業外収益合計	373		340		▲33		
支払利息	128		126		▲1		
その他	13		26		13		
営業外費用合計	141		152		11		
経常利益	848	1.9%	916	2.3%	67	0.4%	
特別利益合計	840		200		▲640		
特別損失合計	404		51		▲353		
税金等調整前当期純利益	1,284		1,064		▲219		
法人税等合計	▲84		307		391		
非支配株主に帰属する当期純利益	77		49		▲27		
親会社株主に帰属する当期純利益	1,291	2.9%	707	1.8%	▲583	▲1.2%	

売上高・利益計画



(単位:百万円)

	2021年3月期実績	2022年3月期実績	2023年3月期計画
売上高	44,366	40,389	40,000
食品事業(旧機能・食品事業)	24,442	21,608	22,160
飼料事業	17,622	16,936	17,800
その他の事業	2,301	1,844	40
営業利益	615	728	250
食品事業(旧機能・食品事業)	361	351	500
飼料事業	909	1,150	720
その他の事業	261	138	30
消去又は全社	▲917	▲911	▲1,000
経常利益	848	916	350
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,291	707	300

(注1) 2022年3月期より太幸物産株式会社(飼料事業)を連結子会社といたしました。また、連結子会社であった林兼コンピューター株式会社(その他の事業)は株式の全部を同社へ譲渡したため連結の範囲から除外しております。同じく連結子会社であった林兼冷蔵株式会社(その他の事業)は、株式の一部を同社へ譲渡したことに伴い連結の範囲から除外し持分法適用会社としております。さらに、株式会社ベツケイ(飼料事業)は、株式の全部を同社へ譲渡したため持分法の適用範囲から除外しております。

(注2) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。

配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2021年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 15.00	百万円 132	% 10.3	% 1.6
2022年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 15.00	百万円 131	% 18.6	% 1.4
2023年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 15.00		% 44.0	

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

IRお問い合わせ先 林兼産業株式会社 総務部 TEL 083-266-0210
IRサイト <https://www.hayashikane.co.jp/ir/>